

事務事業名		運動公園プール等改修事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	15382	一般	10	5	2	市単独事業・国県補助事業 市単独事業				
事業計画	単年度のみ		事業期間	H28年度～29年度		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
			根拠法令 条例等			実施方法		直営		
						事業分類		施設等整備事業		
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
運動公園市民プールは昭和59年、中運動公園プール昭和55年に整備され、30年以上経過し老朽化が進んだ施設であるが、毎年維持補修を行い施設を利用している。今回、老朽化した設備等の更新を行う。運動公園市民プールについては、流水プール起流ポンプ、ろ過循環ポンプ、配管の交換、中運動公園プールについては、ろ過機内のろ過材の交換、子供プールの塗装を行う。		運動公園市民プール：起流ポンプ交換1台、ろ過循環ポンプ交換3台、ろ過循環装置交換1基、ろ過機の送水管引替2箇所、ろ過機自動空気弁交換1箇所、塩素減菌機交換1台。 中運動公園プール：ろ過機内のろ過材の交換、子供プールの塗装。 上記工事を平成29年3月～7月に行う。(平成29年度に繰越)					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
改修を行う施設		施設				2	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

・運動公園市民プール ・中運動公園プール		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		施設数	施設	2	2	2	2	2

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 ・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		運動公園市民プール利用者数	人	42,224	31,177	29,020	20,958	40,000
		中運動公園プール利用者数	人	3,501	2,758	4,842	3,841	5,000

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

施設を有効活用している		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		指定管理者の自主事業数	事業	-	41.0	42.0	44.0	46.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円				10,380	15,594	
	事業費計(A)	千円	0	0	0	10,380	15,594	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							工事請負費	10,380
	人件費	人					2	2
	のべ業務時間	時間				100	100	
	人件費計(B)	千円	0	0	0	384	384	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	10,764	15,978	

事務事業名	運動公園プール等改修事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市のプールについては、耐用年数を超えた設備を多く使用しており、毎年維持修理を行って、プールを運営している状況にある。本年度の開業中に確認された不具合について、来年のプールの運営開始に間に合うように改修する
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	施設や設備の不備による事故について、公的責任のほか担当個人個人の責任が問われるようになってきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	前年度なし

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	安全で快適な運動施設に整備することで、生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図ることが可能となる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	行政財産であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図り、市内体育施設の利用者の増加を図るためにも、体育施設の整備は必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	必要最小限の改修工事である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 運動公園等指定管理事業 本事業とは切り離れた単独事業である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費で実施する。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	改修工事完了			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					